

みつゐ病院便り 第25号

玉野三井病院

平成20年8月

706-0012 岡山県玉野市玉3-2-1 TEL:0863-31-4187 FAX:0863-23-2084
URL:<http://www.harenet.ne.jp/tamano-mitsui-hp/> E-mail:mitsuihp@mes.co.jp

臨床検査機器2機種を更新しました！！

検査長 高津 昌吾

今回は、平成20年5月より稼働を開始しました2機種を紹介します。本年度より特定健診(メタボ健診)が始まったことは、すでに皆様ご存知のことと思います。このメタボリック・シンドロームの診断・治療に際し重要な項目は、1. 肥満 2. 高脂血症 3. 高血糖 4. 高血圧 の4項目です。今回紹介するのは、このうちの3. 高血糖 に関する検査機器です。

1. 全自動糖分析装置 GA08 II (株式会社エイアンドティー)

まず紹介するのは、血糖(血液中のブドウ糖)を測る装置です。ブドウ糖は脳や筋肉をはじめ身体のエネルギー源としてなくてはならない物質ですが、遺伝、あるいは飽食や運動不足を続けることなどにより、すい臓という臓器から出るホルモンの一種のインシュリンが出にくくなると、血液中のブドウ糖は増えすぎてしまいます。この血液の中にブドウ糖があふれている状態が糖尿病です。

ブドウ糖はなくてはならない栄養源ですが、増えすぎると自身の血管を傷つけるようになります。これにより、小さな血管が傷つけられると失明や腎不全を、大きな血管が傷つけられると心筋梗塞や脳梗塞を、また神経にも障害をおこすようになってきます。

本機器は、この血糖値を1時間あたり 160~180 人分測定することができ、得られた値は全国どこの病院とも共通の数値です。



2. 自動グリコヘモグロビン分析計 HLC-723G8(東ソー株式会社)

先に述べました血糖値は、採血した時その時点でのブドウ糖の量となります。本機器で測定できるグリコヘモグロビンA1c(以下HbA1c)は、この血糖値の過去1~2ヶ月程度の平均値を知る指標となります。血液中で、赤血球とブドウ糖が接すると赤血球内のヘモグロビンにブドウ糖がくっつくようになります。たくさんのブドウ糖があればたくさんヘモグロビンにくっつき、ブドウ糖が少なければヘモグロビンにはあまりくっつきません。



このブドウ糖とひっついたヘモグロビンがHbA1cです。赤血球は約120日の寿命がありますので、赤血球1個で考えれば、120日前までに会ったブドウ糖の量を覚えているわけです。実際にはたくさんの赤血球がありますので、表示されるHbA1c値は全体の赤血球の平均の値となります。したがって、飲食や運動など採血した時点での血糖値のばらつきに影響されず、安定した指標となります。

本機器での、1検体の測定にかかる時間は約1分であり、健診など大量検体の測定や迅速検査に対応できます。

今回は新しい2機種を紹介しました。玉野三井病院検査室では、速く、正確に、信頼できるデータを提供することで、実際の診察の場での診断・治療に貢献できるよう努めています。ご意見やご感想などございましたら、ぜひお聞かせください。

献血バス来院

6月20日(金)13:00~16:00に献血バスがやってきました。受付35人そのうち400ml献血は22人、200ml献血は5人でした。皆様の暖かいご協力ありがとうございました。



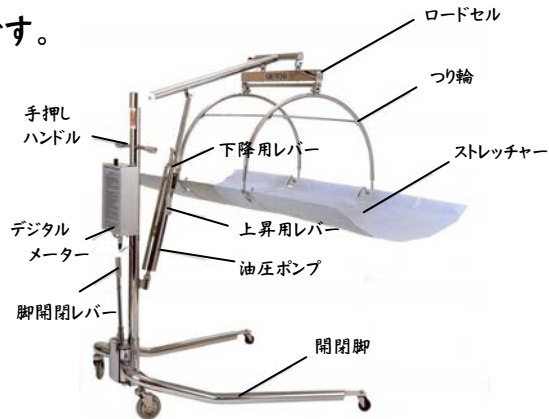
整形外科の受け付けが変わります

当院の整形外科におきましては、待ち時間が長く、患者様に大変ご迷惑をお掛けし申し訳なく思っております。これまでも色々対策を講じてきましたが、思うように解決せず、診療に支障をきたしているのが現状です。そこで8月1日より整形外科の診察は、予約患者様、紹介患者様のみに受け付けさせていただきます。患者様にはご迷惑をお掛けいたしますが、予めご了承願います。

病棟にリフト式体重計

スケルトロニクス2001が入りました！

4月に病棟用に購入したスケルトロニクス2001は、患者様が寝たままで正確に体重を測定できるリフト式体重計です。メーターは認識性にすぐれたデジタル表示で10g単位の測定が可能です。電源はバッテリー方式なのでどんな場所でも使用出来ます。重量は約38.5kg。軽くて取り扱いが容易な上、患者様への負担が少ないため、重症患者や幼児の体重管理に最適です。



夏フラダンス



南病棟では毎年夏の行事として土曜夜市や盆踊りなどを企画していますが、今年は七夕の後祭りとしてフラダンスショーを企画しました。

「ハウオリーズ マサコ アケタ フラストジオ 玉野スタジオカルチャー」よりインストラクターの青木貴子先生と教室の生徒さん9名がボランティアでフラダンスを踊っていただきました。

華やかな衣装や体の動きに見惚れ、ハワイアンのリズムに乗って夏を感じたひと時でした。ご家族や他の病棟の患者様も見に来られ、一緒に楽しい時間を過ごしました。このような楽しいショーがあると気分が華やぎ、患者様にも笑顔がみられ生き生きとした表情になります。ボランティアの皆様ありがとうございました。



給食室便り

管理栄養士 大山 和子

当院の給食室では、患者様にお出しするお食事については衛生を重視して調理しております。その食事提供をサポートしてくれる厨房機器を紹介いたします。

* シューズ殺菌庫



調理室内で使用する履物をオゾンにて殺菌・消毒します。

* 食器・調理器具殺菌保管庫



患者様にお出しする食器類・調理に使用する器具を全て殺菌・消毒します。

* 酸化水生成器



野菜・果物・卵などの食材の消毒を行い手指を流水で洗浄・消毒します。

* 生ごみ処理機



調理で出る生ごみ・残食類を入れると最後は水に分解してくれます。

病院理念

地域に根ざし、誠意と確かな医療で、患者様に信頼され安心していただける病院。

基本方針

1. 患者様のかかりつけとしてのお付き合いを念頭に責任を持って対応します。
・健診とそれに基づく健康相談・救急を含めた急性期医療・療養を含めた慢性期医療・訪問診療を含めた在宅医療
2. 患者様の尊厳と権利を尊重し、患者様中心の医療を実践します。
3. 個人情報保護と守秘義務の徹底を心がけます。
4. 全職員が研さんを積み、医療の質と安全について常に向上を目指します。

患者様の権利について

私たちは患者様の権利を尊重し、信頼関係を築き患者様中心のあたたかい医療の実践に努めます。

1. 患者様の意思を尊重し満足される医療を提供いたします。
2. 治療の説明を受け、選択や拒否ができるように致します。
3. プライバシーを尊重いたします。